

輸出事業計画

※申請者名：株式会社くにも農産、品目：米、柿、柿加工品、そら豆加工品

1. 輸出における現状と課題

現状 米：現在の輸出先はスイス、台湾の2か国。但し、台湾については、テスト販売のみ。

柿：取引先は無し。

柿・そら豆加工品：テスト販売のみの輸出になる。輸出先はアラブ首長国連邦（そら豆加工品）、香港（柿加工品）の2か国

今後、輸出を拡大するため、フランス、オーストラリア、シンガポール、台湾、香港、スイス、UAE、アメリカをターゲットにした。各国の商談や市場調査からニーズの状況把握し、輸出先国のターゲット層も設定した。

課題

- ・各種認証取得体制の構築（米のみ）。
- ・輸出向け農産物の供給量確保。
- ・物流コストの削減。
- ・輸出先国が求める食品表示の改訂や残留農薬検査の実施。
- ・販売商品への理解醸成

2. 輸出事業計画の取組内容

輸出事業計画を策定する際、3つの段階（生産段階、物流段階、販売段階）に分け、それぞれの課題を解決するために、取組内容を段階毎に記す。

生産段階：・JGAP又はASIAGAP等の取得。

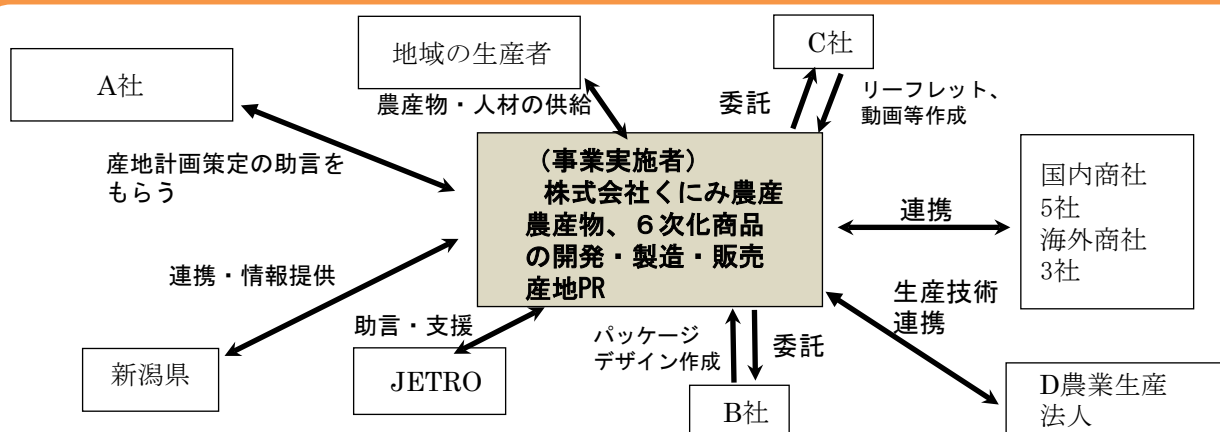
- ・地域の生産者との連携体制の構築。

物流段階：・こん包資材等の見直し。

- ・残留農薬検査、栄養成分検査などの着実な実施と安全性の情報発信。

販売段階：・販促キャンペーンの実施による消費者等への情報伝達

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

【全品目(米、柿、柿・そら豆加工品)】

	現状（令和4年度）	目標年（令和7年度）
輸出額(千円)	440千円	4,365千円
輸出量(t)	0.43 t	4.01 t
輸出先国	スイス、アラブ首長国連邦、香港、台湾	香港、台湾、スイス、アラブ首長国連邦、フランス、オーストラリア、シンガポール、アメリカ